大蛇みこし

108メートルの利根ハワイにも遠征へ

老神温泉観光協会

小霊が舞う中、3時間にわたる作業で初めてつなぎ合わされた大蛇みこし

利根村老神の老神温泉で毎年5月に開かれる「蛇まつり」で担がれる「蛇みこし」として、長さ108㍍の大蛇みこしが完成。1日、同温泉赤城神社近くの村道で、お披露目と入魂式が行われた。同温泉観光協会（桑原道良会長）が"世界1長い大蛇"として、ギネスブックに挑戦するとともに、村の目玉にしようと、2年がかりで製作を進めてきた。大蛇みこしは、3月9日から米国・ハワイで開催される「第7回ホノルルフェスティバル」にも参加、利根村と老神温泉をアピールする。

巳年生まれ2トンのヘビー級

大蛇づくりは一九九九年（平成十一）さ八十三匹を視察したり、五月、観光客誘客を図る目的で組織する実行委員会を立ち上げてスタートした。それまで手作りの蛇みこし五体（最大で長さ十六㍍）を製作しており、「この際、世界一長いものを」（同実行委）と目標を設定。新潟県川村のからくり製の蛇（長さ十八㍍）十本をつなぎ合わせ、大蛇の胴体部分の頭部は二㍍にまで、総重量は二㌧に達しないか（同実行委）と心配されたが、大蛇の腹部が台荷車を運搬して担いでもらうという。製作費は約九百万円で、うち五百万円が補助した。

大蛇みこしは、船でハワイへ搬送されるため、この日、神事を終えた後、さっそく横浜港へ向かった。

桑原会長は「今年は巳年ということもあって、旅行会社からハワイのフェスティバル参加の要請があった。地元住民らもボランティア参加し携って、世界に大蛇みこしをPRするとともに、老神温泉の不況感を吹き飛ばしたい」と話している。

少年院送致は不服で抗告

睡眠薬乱用の2少年

伊勢崎市内のカラオケボックスで昨年五月、高校三年生の男子二人が少女に睡眠薬を飲ませた上、同市内のカラオケボックスで他の暴力団員らと共謀して、前橋家裁で少年院送致の決定を言い渡された同市内と邑楽郡在住の少年二人は、いずれも十八歳に達し、少年二人は昨年五月十一日深夜から十三日未明にかけ、伊勢崎市の少年伊勢崎市内の無職少女＝当時（一七）＝に睡眠薬のんだ飲料水を飲ませた上、同市内のカラオケボックス内で代わる代わる暴力を加えたとされる。

また、少年二人は昨年五月十一日までに、県警前署は「日までに、児童買春禁止法違反の疑いで、館林市羽附旭町、館林衛生施設組合職員、館林市吉幸容疑者らを逮捕した。

調べによると、柿沼容疑者は昨年九月十五日、テレホンクラブで知り合った栃木県足利市内に住む、いずれも十五歳の中学三年の少女二人に現金二万円程度を渡し、わいせつな行為をした疑い。

同組合によると、柿沼容疑者の勤務態度はしっかりしており、「こんなことをする人物とは考えられなかったという。同組合は「事実を確認した上で処分を決めたい」と話している。

館林の公務員
児童買春容疑

足利署が逮捕

テレホンクラブで知り合った女子中学生にわいせつな行為をしたとして、栃木県警足利署は一日までに、館林市羽附旭町、館林衛生施設組合職員、柿沼吉幸容疑者らを逮捕した。

調べによると、柿沼容疑者は昨年九月十五日、テレホンクラブで知り合った栃木県足利市内に住む、いずれも十五歳の中学三年の少女二人に現金二万円程度を渡し、わいせつな行為をした疑い。

同組合によると、柿沼容疑者の勤務態度はしっかりしており、「こんなことをする人物とは考えられなかったという。同組合は「事実を確認した上で処分を決めたい」と話している。

館林の公務員
児童買春容疑

足利署が逮捕

テレホンクラブで知り合った女子中学生にわいせつな行為をしたとして、栃木県警足利署は一日までに、児童買春禁止法違反の疑いで、館林市羽附旭町、館林衛生施設組合職員、柿沼吉幸容疑者らを逮捕した。

調べによると、柿沼容疑者は昨年九月十五日、テレホンクラブで知り合った栃木県足利市内に住む、いずれも十五歳の中学三年の少女二人に現金二万円程度を渡し、わいせつな行為をした疑い。

同組合によると、柿沼容疑者の勤務態度はしっかりしており、「こんなことをする人物とは考えられなかったという。同組合は「事実を確認した上で処分を決めたい」と話している。

拾ったカードで20万円引き出す

太田署　専門学校生逮捕

太田署は一日、遺失物等横領の疑いで、太田市内のパチンコ店で、同市内の男性会社員の財布を拾い、近くにあった銀行でキャッシュカードを使って現金約二十万円を引き出した疑い。

成瀬容疑者は容疑を認めており、「お金はパチンコなどに使った。遊ぶ金がほしかった」などと供述しているという。

男性会社員が現金が引き出されていることに気付き、同署がパチンコ店などで聞き込み捜査などを進めていたところ、成瀬容疑者の犯行が浮かんだ。同署は余罪を追及している。

横領疑惑の沼田市議会議長

8日議運で報告

沼田市議会議長が業務上横領と商法の特別背任の容疑で逮捕された問題で、一日の議会運営委員会に経過報告がされた。

議長は「一日の議会運営委員会にも報告したいと思っていたが、同日、臨時の議会運営委員会（井澤和男委員長）を開き、同問題の取り扱いを協議した。

井澤委員長は「横領の事実はないが、お騒がせして申し訳ない。道義的には責任を感じている」と釈明。さらに「告訴状を読んだわけではないので、内容をよく理解していない。心の整理をして、八日の議会運営委員会に経過報告したい」と述べた。

長崎総合科学大教授の坂井正康さんが「バイオマスが拓く21世紀エネルギー」と題し、植物を資源とするバイオマス燃料について講演。また、第二部は同大学生物工学科の学生による研究発表。

第一部は午前十時から、環境カウンセラー、前橋市の舞踊家、若柳久千さんの創作舞踊を披露。正午から午後三時までは作品展示。

参加費五百円。当日、だれでも参加できる。

環境会議参加の申し込みは九日までに、ネルギーを考える会・群馬（☎027・325・6081）へ申し込む。

環境や核、人権考えよう

高木さんをしのぶ会　11日に高崎

前橋市出身の反核科学者として知られ、昨年十月に亡くなった高木仁三郎さんをしのぶ会（実行委主催）が十一日、高崎市寺町の同市労使会館で開かれる。自然エネルギーを考える会・群馬、県有機農業研究会、森林の会、県自然保護団体連絡協議会の共催、県の後援。

高木さんは東京理学部卒、東京都立大助教授、原子力資料情報室代表などとして活躍。一九七七年、人類が直面する危機の解決に尽力した人に贈られるライト・ライブリフードの東海村臨界事故の際には、がんで闘病中ながら、原子力安全委員会の事故調査に異論を唱え、注目された。

しのぶ会は、高木さんの業績を追悼し、人権問題、環境や核、人権問題、エネルギーについて考える。

第一部は午前十時から、環境カウンセラー、前橋市の舞踊家、若柳久千さんの創作舞踊を披露。正午から午後三時までは作品展示。

参加費五百円。当日、だれでも参加できる。

想像会参加を希望する人は九日までに自然エネルギーを考える会・群馬（☎027・325・6081）へ申し込む。

故高木仁三郎さん

太田市
宿日直を民間委託

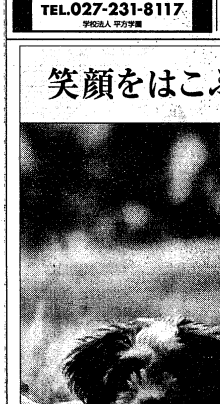
身分は嘱託員
経費削減へ苦肉の策

太田市は新年度から、市役所の夜間の宿直と休日の日直業務を警備会社に委託する。夜間と土、日曜・祝日の業務は、これまで市職員が年間ローテーションで対応。それぞれ手当が支給されるほか、翌日は職務免除とされている。民間業者に委託することにより、市は経費節減や事務合理化、市民サービスの向上などを図るとしている。ただ、職務内容の一部が公務員の守秘義務にかかわるため、業務にあたる業者の身分は市の嘱託員扱いにする方針。

同市の宿日直業務は、平日の夜間と土、日曜・祝日の日直は男子のみで年一回の割合で担当。男子が二年に一回、女子は一年に二回の割合で担当している。該当職員には一日当たり四千六百円の手当が支給され、大半の職員が職務免除を受けている。

婚姻の届け出などの市民窓口業務を行っている。

男女合わせて二百人の職員のうち三分の一が交代で、毎年開約三百二十万円。職務免除に伴う人件費は同八百万円と試算している。

民間業者の委託については、同市は数年前から検討。総務課によると、これまでに、こうした経費は宿直の際のシーツクリーニング代を含めた経費は男子のみで年一万円と試算している。

同市人事課によると、